

地域に流れる郷土愛

We Love JOSO

本市にゆかりがあり、さまざまな分野で活躍している
「常総ふるさと大使」が、本市の魅力を語ります。

女優
——
羽田美智子さん



水害に負けず 住みやすいまちに 復興してほしい

好きな場所は一言主神社、水海道天満宮です。豊水橋からの鬼怒川の眺め、筑波山の眺めがお気に入りの景色です。実家近くの店のあんぱんと焼きそばが大好きです。8月下旬の常総きぬ川花火大会は夏の最後のイベントなので、「もうすぐ学校が始まる」という気持ちと、夏の終わりの寂しさを感じていたのを思い出します。

鬼怒川決壊の被害に負けずに、住みやすいまちに復興してほしいと願っています。私はドラマや映画への出演ももちろんですが、文化的な番組も大好きなので、そういった番組への出演も増やしていきたいと思っています。

プロフィール

旧水海道市出身。1988（昭和63）年デビュー。94年映画「RAMPO」でエランドール賞新人賞、第18回日本アカデミー賞新人俳優賞受賞。95年映画「人でなしの恋」で日本アカデミー賞優秀主演女優賞を受賞。映画、ドラマ、CMを中心に活躍中。



子どもたちの可能性を広げる素晴らしい環境

3歳で柔道を始め、6年生の時に県大会で個人チャンピオンになりました。尊敬できる恩師に出会い、仲間と共に大好きな柔道に打ち込めたのも、スポーツが盛んでスポーツへの理解がある素晴らしい環境だったからこそ。

中学からは柔道の強豪校国士館に進んだので、地元で過ごしたのは小学校時代までですが、自分にとっては大切なふるさとです。今後も子どもたちの多様な可能性を広げる場所であり続けてほしいと願っています。

柔道 鈴木桂治さん



プロフィール

旧石下町出身。2004（平成16）年アテネ五輪男子柔道100キロ超級優勝。2008（平成20）年北京五輪100キロ級にも出場した。世界選手権は2003（平成15）年に無差別級、2005（平成17）年に100キロ級で優勝。五輪と世界選手権で重量級ただ1人の3階級制覇を達成した。現在は国士館大体育学部准教授兼男子柔道部監督。



地元の応援が力になって支えられた選手生活

小さい頃からバイクには興味がありましたが、当時は学校の規制が厳しくて、オートバイに本格的に乗り出したのは高校を卒業してから。結婚するまでは実家暮らしで、レースやバイクいじりに明け暮れていました。地元の祭仲間、宝町の若連が熱い応援をしてくれたのが励みになりましたね。今でも時々集まって親交を深めています。

僕を支えてくれた家族や友人、お世話になってきた会社への恩返しがこれからの仕事。アジアの若いライダーを、世界に通用する一流に育てていきたいです。



元レーシングライダー

プロフィール

旧水海道市出身。元オートバイ・ロードレーサー、全日本チャンピオン。レース世界選手権最高峰クラス日本人最多勝利記録保持者。2001（平成13）年に第一線を退いた後はHONDAのチーム監督などを務め、オートバイレースの世界を盛り上げている。

岡田忠之さん





柔道のまち、 スポーツのまちとして 発展を期待

父親が柔道の指導者をしていたので、5歳から柔道を始めました。6歳の時に大会で優勝し金メダルをもらった時、とてもうれしかったのをよく覚えています。家の近くの鬼怒川河川敷で母親に自転車で伴走してもらいながら毎日タイヤ引きのトレーニングをしたのもいい思い出です。今後は指導者として世界を目指す選手を育てていきたいですね。常総市が柔道のまちとして、今後ますます発展していくために貢献したいと思っています。



プロフィール

旧石下町出身。2008（平成20）年北京五輪男子柔道81kg級出場。5歳で柔道を始める。鈴木桂治氏と同じ市体育協会石下柔道部のOB。世界選手権に計6度出場し、2005（平成17）年と2011（平成23）年の世界選手権で、それぞれ81kg級、90kg級で銅メダルを獲得。

柔道 —— 小野 卓志さん

交通の利便性が 格段にアップ 試合の移動も楽々！

常総はゴルファーにとって恵まれた環境。全国のトーナメントに参戦するのに、羽田空港への電車移動も便利ですし、東京駅へも車で約40分。圏央道のインターチェンジができればますますアクセスが良くなります。スポーツ医学に基づいたトレーニングに通う

筑波大も近く、生活のベースがここで本当に助かっています。

将来的には地元とゴルフ界への感謝を込めて、アカデミーの設立を考えています。オリンピックに出場できるようなジュニアを、故郷から輩出していきたいですね。



プロゴルファー

細川 和彦さん

プロフィール

旧水海道市出身。中学3年の秋にゴルフと出会い、高校ゴルフ部から頭角を現し、20代で2試合連続優勝を達成。夏場の強さに定評があり、夏男の異名をとる。



極めて都会に近い田舎 このギャップが いいんだよね～

茨城の玄関口といえば常磐自動車道なら谷和原インター、つくばエクスプレス(TX) 利用なら守谷。でもそれは茨城が都会に見せる顔。まずは守谷から常総線に乗り換えてみてください。そのギャップがすごいです。車窓に広がる田園風景、いきなりのローカル感、これが本当の茨城。日本三大天満宮のひとつ大生郷天満宮や、江戸時代にタイムスリップしたような坂野家住宅など、広い空と地平線の中に、昔と今、都会と田舎がクロスするおもしろさがあります。

「リアル茨城の玄関口」それがジョーソー♪ JOSO !



プロフィール

常総市在住。旧石下町出身。茨城県をユニークに紹介するインターネットの人気サイト『茨城王(イバラキング)』を開設後、2004(平成16)年に初の著書『いばらぎじゃなくていばらき』を発表。県内でベストセラーに。他に『続いばらぎじゃなくていばらき』『ごじゃっペディア～楽しく学ぶ茨城弁』。講演、音楽活動なども行う。



作家・ラッパー —— 青木智也さん

行きたい道 を示してく れた緑ゆた かな故郷

家が鬼怒川の近くの河川敷にはたくさんの思い出があります。それはもうお笑いのネタの宝庫。出身地や方言をコンプレックスに感じた時期もあったけれど、面白がってくれる人がいたおかげでコンプレックスが消えました。

今では東京にいても気持ちはどっぷり茨城県。故郷で経験したすべてのことに、ちゃんと意味があったんだな、と感謝しています。だから、とぐい茨城弁で常総のごど、いづまでもいづまでもPR頑張っかん！！

プロフィール

旧石下町出身。2003(平成15)年にお笑い芸人となり、茨城弁を駆使して繰り出す茨城の自慢ネタで人気に。結婚後は同じお笑い芸人で夫の松丘慎吾氏とのコンビ「チャイム」でも活躍。コンビ名の名付け親はピートたけしさん。



お笑い芸人 —— 赤プルさん



たいせつな故郷を
ますます元気に
私は歌で応援します！

デビューして間もなく常総ふるさと大使を委嘱いただき、さまざまなイベントやメディアで、歌手活動とともに常総市のPRに励んでいます。2015（平成27）年6月には、念願だった大好きな地域交流センター（豊田城）でチャリティコンサートを、2016（平成28）年2月にはつくば市北条で常総市災害支援コンサートを開催できました。家族がいて友達がいる常総はとても大切な場所。これまでたくさんの方に助けていただいたことに感謝して、

今度は私が、人生の応援歌で皆さんに元気を届けたいと思っています。これからも地元情報をどんどん発信していきますね！



プロフィール
常総市在住。つくば市出身。2013（平成25）年9月、キングレコードからCD「人生舞台」でデビュー。チャリティコンサートを開くなど歌で地元へ貢献。



演歌歌手
——
北条 きよ美さん

日本古来の伝統芸
吟詠を通して
常総市の魅力を広めます

常総市の魅力を歌詞に盛り込んだ曲「常総音頭いやどうも」を作詞作曲し、歌っています。常総市には大生郷天満宮、一言主神社など立派な神社もありますし、石下大橋から見る筑波山の眺めは最高ですね。

今後の常総市には「安全」をアピールし続けることが大切です。鬼怒川決壊によって大きな被害を受けましたが、市民の皆さんが常総市を離れることがないようにしたい。私は日本古来の伝統芸である吟詠を通して、さまざまなイベントに参加する機会が多くありますので、微力ながら常総市の良いところを、いろんな形で広めていきたいと思っています。

プロフィール
常総市在住。北海道出身。1972（昭和47）年に吟詠を始め、その後吟詠の全国コンクールで優勝するなどして実力を高める。心嶺流嶺煌吟詠会会長



吟詠家
——
池田 嶺煌さん